

## 第2学年 美術科学習指導案

日 時 平成27年10月 9日 (金) 5校時  
 生徒 巻塚中学校2年A組 男 9名 女15名 計24名  
 指導者 貴 俵 富美恵

### 1 題材名 「投影された私」 ～モダンテクニックを生かして～ (A 表現)

### 2 題材の目標

- ・モダンテクニックを生かして形や色彩の効果的な表現方法を追求すると共に、それらを活用して自分のイメージした内面世界を工夫して表し、自分自身を見つめることができる。
- ・配色や構成のプランを立て、意見交換による検討を行いながら、意欲的・計画的に制作を進めることができる。

### 3 題材の評価規準

美術に関する 関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の内面を視覚化するための試行錯誤を行い、イメージを具体化しようとしている。</li> <li>・自分や仲間のアイデアスケッチについて、積極的に発表や意見交換をしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モダンテクニックの表現効果からイメージを広げ、作品に生かすことができる。</li> <li>・自分の内面世界を表現するための配色・構成・モチーフを考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モダンテクニックを使って自分の意図に沿った表現をすることができる。</li> <li>・色彩や配色・構成の効果を生かした表現が出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人の作品を鑑賞し、その良さや美しさを味わうとともに、制作の意図を考えようとしている。</li> </ul>

### 4 単元の学習系統 (関連と発展)

小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「気持ちを表す形や色」 自分の気持ちを形や色で表すことを楽しみ、効果的に表すよう試みる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心に浮かぶ夢の世界」 自分の心と対話し、自由に想像を広げて絵に表す。</li> <li>・「12年後の私」 将来の自分について想像することを楽しみ、それを立体に表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「色を学ぶ」「色の性質」 色の三要素や対比の効果、色が表す「感じ」について学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「四角形のリズム」 マーブリングをした和紙で平面分割(色面構成)をする。</li> <li>・「投影された私」 モダンテクニックを生かして自分の内面を視覚化する。</li> </ul>

### 5 題材について

#### (1) 生徒について

この学年の生徒達の美術は2年生から担当しているが、熱心な取り組みで作業への集中力が高く、1学期に取り組んだ野菜デッサンやペン画も、じっくりと丁寧に作品を仕上げる姿が見られた。

今回扱うモダンテクニックのうち、マーブリングは、1学期に別の作品の素材とするために体験済みである。初めてマーブリングに取り組む際にはおそろおそろインクをたらず、という面もあったが、楽しみながら作業することができた。偶然性に左右される部分が多い技法だが、2回目には、出来上がりを想像しながらインクの量や配色、吹き流し方を工夫するなど意図的に制作している生徒が多かった。

作品作りへの興味関心は高いが、美術館に行く機会は限られており、美術作品に触れたり、美術に関わったりする機会に恵まれているとは言えない。資料集やプリントを使って鑑賞や制作者の文章を読む機会を増やし、優れた作品や制作者の思いに触れることが、作品づくりに生かされると考える。また、モダンテクニックを通して表現の楽しさに触れることで、美術がより身近なものになると考える。

## (2) 教材について

本単元は、学習指導要領「内容」A表現(3)アの「材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。」にあたる。教科書では二年上『I「つながり」のかたち』の「私との対話」「投影された私～いろいろな自画像にチャレンジしよう」がある。いわゆる「自画像」、半身像の具象表現ではなくても、自分の心のありようを色彩や形に「投影」したり、その他の生き物に託したりすることで、「こころ」の表現は可能である。自分の内面を言語化し、文章化することが苦手な生徒にも、自分の内面を語ることに心理的抵抗を覚える生徒にも、自分を表現することに前向きに取り組ませたいと考える。

マーブリングを含め、モダンテクニックは、その出来上がりがある程度偶然性に左右される技法ではあるが、強い表現が生まれる。偶然の効果を楽しみ、新たな発見をしながら楽しんで制作に取り組ませたい。また、自分自身を見つめ、心の中にある様々な迷いや願いをイメージ化する中で、「こうありたい自分」を考える機会としたい。

## (3) 指導について

- ・学習プリントを準備して制作の流れを示し、作業の見通しを持たせると共に、自分の取り組みを振り返る時間を持たせたい。また、このプリントを個別指導の資料とする。
- ・作家による作品の例を示し、既習事項である色彩の効果を復習したり、新たなモダンテクニックに取り組んだりする中で、自分の内面をどう表現するか、イメージをふくらませたい。
- ・図鑑やコラージュに使用するチラシなどを資料として提示し、素材は出来るだけ自分で準備させたい。
- ・グループ内で互いのアイディアスケッチを発表させる場を設定し、作業計画を再検討させたり、よりよい作品を目指して互いに批評しあわせたりする。

## 6 題材の指導計画(全10時間)

小単元(時数)	学 習 内 容
1. 制作の手順や方法を確認し、テーマを決める	制作の意図を理解し、モダンテクニックを使った作品例を鑑賞する。学習プリントを使って、自分のどんな気持ち(どんな面)を視覚化するか考え、「(こんな)私」「～したい私」といったテーマを考える。
2. モダンテクニックの学習	様々なモダンテクニックで効果を試し、自分のイメージを広げたり、自分の表現したいイメージに合うものを選んだりする。試作品が作品の素材となるよう、丁寧に制作する。
3. 中心となる素材を考える	自分の気持ちを託す素材(主人公となる生き物など)や、その表現方法について候補を挙げ、試行錯誤してみる。グループ内で意見交換し、検討の材料とする。
4. 中心となる素材を決め、プランを検討する	自分の気持ちを託す素材(主人公となる生き物など)と、その表現方法を決め、モダンテクニックでつくった素材との構成を考えてプランを練る。
5. 下絵を完成し、グループで中間発表をする(本時)	試作のモダンテクニックの素材を貼り合わせるなどして下絵を完成し、グループ内で中間発表・意見交換をする。(本時)
6. プランに沿って制作する	中間発表・意見交換を参考にプランを検討しなおし、各自の制作に取りかかる。
7. プランに沿って制作する	制作手順は各自の計画による。
8. プランに沿って制作する	
9. プランに沿って制作、作品完成	台紙の色を選び、貼り付けて完成させる。
10. 作品鑑賞	完成した作品についてグループで制作意図や技法、感想を発表し合う。

7 本時の指導

(1) 目標

表したい思いを効果的に表現できているか、グループ内の話し合いを通して考えさせ、よりよい作品を目指して構想を練らせる。

(2) 研究との関わり

- ① 下絵をつくって本制作に取りかかることで、見通しを持った作品づくりをする。
- ② 個人の考えを基にグループで意見交換する場を設定することで互いに学び合わせる。

(3) 展開

段階 時間	学 習 活 動 ○：予想される反応	指導上の留意点 ◎：研究との関わり 評：評価
導 入 5	<p>1 画面を構成する素材や中心となるもの（主人公）が準備できているか、作業進捗を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習課題を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>集めた素材をもとに下絵をつくり、中間発表をしよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モダンテクニックや配色の効果だけに目を奪われず、表現しようとする自分の内面を表現するものであることを再確認する。</li> <li>・中間発表で各自が話す内容を確認する。</li> </ul>
展 開 40	<p>2 素材を学習プリントに配置して構成を検討し、簡単に貼り付けて下絵を作る。（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○素材・中心となるものの準備が出来ていない。</li> <li>○迷ってしまい、作業が進まない。</li> <li>○作業が早く進んだために時間が余る。</li> </ul> <p>3 グループ内で中間発表を行う。制作意図と使用するモダンテクニック、中心となるもの（主人公）について、1人1人発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん意見が出た人、制作意図を効果的に表現している人、意見交換を通して考えが変わった人、の観点で代表を1人選ぶ。（15分）</li> </ul> <p>4 各グループの代表1名が全体場で発表する。（10分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モダンテクニックを使って試作した素材を使う。</li> <li>・グループの中間発表後に貼り直せるよう、簡単に貼っておく。（糊ではなく、マスキングテープを使う）</li> <li>・素材がそろわない部分は、色紙を使って配色計画のみ入れさせる。</li> <li>・検討のための下絵なので、仮のプランで時間内に終わるよう促す。</li> <li>・次の授業からの制作手順や計画を考えさせる。</li> </ul> <p>◎4人グループを6つ作る。</p> <p>◎1人の発表に対し、他の全員が「良いと思うところ」「もっとよくなるためのアドバイス」「感想」を述べる。</p> <p>◎自分と違う意見、参考になった意見はプリントに書き加える。</p> <p>評 思いを効果的に表す表現について意見を述べる事が出来たか。（鑑賞の能力）</p> <p>◎自身の制作意図に加え、意見交換で参考になった点や、プラスの評価について述べる。</p>
終 末 5	<p>5 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>中間発表での意見交換や、仲間のプランを参考に、下絵を検討し、次時からの作業を計画する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習への取り組みについて学習プリントに自己評価を記入する。</li> </ul> <p>6 次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下絵を貼り直したり、制作進行予定表を記入したり、次時の準備をする。</li> </ul> <p>評 話し合いを通して、作品に対する考えを深める事が出来たか。（発想・構想の能力）</p>